◆　在籍児童数と学級　◆

学　年	男	女	計
１年１組	12	7	19
１年すまいる	3	2	5
２年１組	15	12	27
２年すまいる	3	0	3
３年１組	11	17	28
３年すまいる	9	0	9
４年１組	10	15	25
４年すまいる	1	2	3
５年１組	17	11	28
５年すまいる	2	3	5
６年１組	18	9	27
６年すまいる	5	0	5
合　計	106	78	184

R5.4.1 現在

◆　職　員　一　覧　◆

職　名	氏　名	担任	校務分掌	着　任
校　長	南　山　夕　子			R5
教　頭	尾　中　康　裕			R4
教　諭	丹　羽　美　里	1-1	文化・CS	R4
教　諭	泉　　裕　子	2-1	地域教育・CS	R4
教　諭	三重野　広　大	3-1	校内研修	R5
教　諭	大　内　理　志	4-1	児童活動	R3
教　諭	河　井　信　義	5-1	体育	H29
教　諭	三　上　佳　祐	6-1	情報教育	H31
教　諭	西　村　美　樹	すまいる	特別支援教務・CO	H30
教　諭	高　橋　直　之	すまいる	美化環境・体育	H31
教　諭	志　田　朋　子	すまいる	文化・地域文化事業	R2
教　諭	中　野　博　愛	すまいる	生徒指導	R4
教　諭	北　條　早　紀	すまいる	児童活動	R4
教　諭	三　神　昭　宏	すまいる	校内研修・校外研修	R2
教　諭	北　村　　聡	すまいる	校外研修	R4
教　諭	松　田　多栄子	Co	Co・特別支援教育	R3
教　諭	山　川　昌　子	通級	通級・Co・特別支援教育	H31
教　諭	沼　田　朋　樹	教務	教務	R2
養護教諭	後　藤　真由美		保健給食・美化環境	R5
事務職員	椎　名　　勉		経理・庶務・施設管理	H29
支援員	佐　藤　美奈子		学習支援員(低)教務	H30
支援員	瀧　田　　実		学習支援員(中)文化	H31
支援員	八　巻　憲　一		学習支援員(高)体育	H31
支援員	伊　林　美　樹		特別支援教育支援員	H30
支援員	工　藤　有希子		特別支援教育支援員	H28
支援員	川　合　陽　子		特別支援教育支援員	H25
支援員	山　本　沙　樹		特別支援教育支援員	R5
指導員	山　田　　覚		学習指導員	R2
学校司書	村　田　清　美		学校司書	H30
公務補	相　原　一　志		施設管理	H27
事務生	川　畑　吉　江		経理・庶務	H23

◇ＰＴＡ事業計画◇

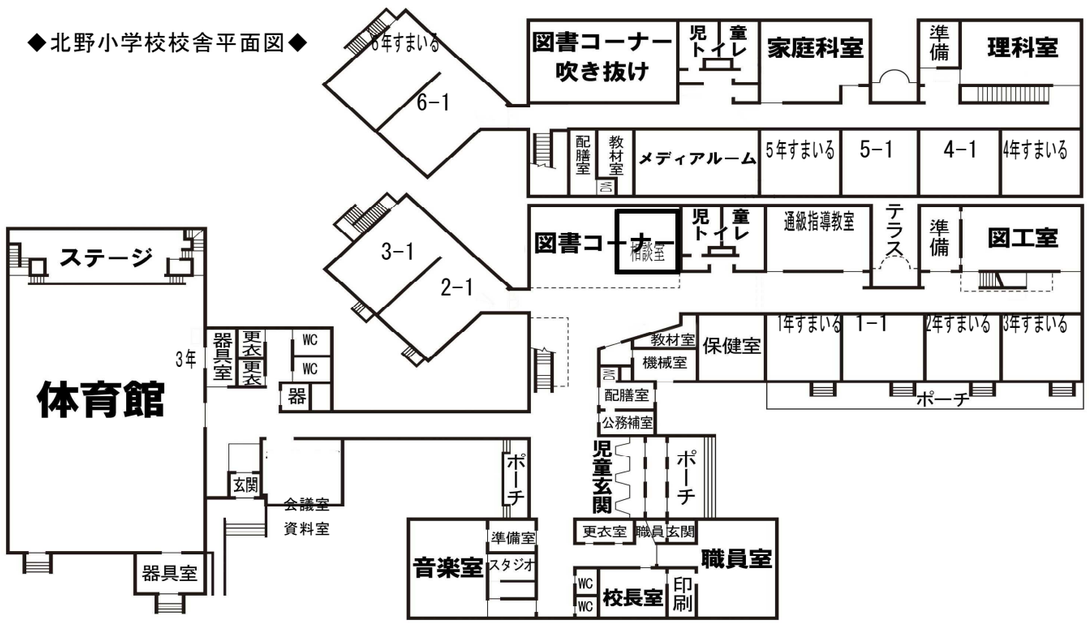
○基本方針
の子どもの幸福のために学び考え行動するＰＴＡ

○重　点
１保護者と教師による学習活動
２地域における子どもの育成
３学校教育における理解と協力
４教育に関する世論喚起と啓発

◇ＰＴＡ本部役員◇

会　長	山　内　岳　男	副会長	千　葉　　恵	副会長	北　山　謙一郎	監　事	蛯　名　祐　介
監　事	佐　藤　利佳子	理　事	澤　田　秀　行	理　事	遠　藤　吉　則	会　計	小　澤　愛　莉
顧　問	南　山　夕　子	事務局長	尾　中　康　裕	事務局次長	泉　　裕　子	会　計	椎　名　　勉

◆北野小学校校舎平面図◆



令和５年度

学校要覧

校　歌

作詞　飯田廣太郎
作曲　千葉日出城

一　大雪山を　仰ぎ見て
松の緑の　とこしえに
豊けき郷土の　明けくれを
迎えて建てる　学舎は
その名もゆかし　北野校

二　石狩川の　かたほとり
平和の光　身にうけて
学びの庭の　朝夕に
強くやさしく　育ちつつ
正しき日本　うち建てん

鷹栖町立北野小学校

071-1252　上川郡鷹栖町12線３号

TEL　0166－87－2302　FAX　87－2383

沿革史

明治３１年１１月１８日　近文第２小学校分校として創立
　　３２年　４月　１日　近文第２尋常小学校として創立
　　３４年　４月　１日　通学区域変更決定
　　３５年　６月１５日　校舎現在位置に移転
大正　２年　４月　１日　近文第４尋常高等小学校と改称
　　１４年　５月２２日　北野尋常高等小学校と改称
昭和　７年　４月１８日　学校後援会設立
　　１０年　９月１３日　青年学校設置
　　１６年　４月　１日　北野国民学校と改称
　　２１年　４月　１日　北野小学校と改称
　　２３年１２月２０日　校舎改築落成
　　３３年１１月１８日　校舎一部・体育館増築落成
　　３７年１０月１７日　全国子供銀行表彰状受賞
　　３８年１１月　１日　学校完全給食実施
　　４０年　５月２１日　特殊教育学級開設
　　４２年　４月　１日　体育教育研究指定校
　　４３年１２月　５日　新校舎落成・開校 70 周年記念式典挙行
　　４７年　４月　１日　養護教諭配置，保健室整備
　　１０月２２日　中庭造園（ＰＴＡ寄贈の樹木植樹）
　　４８年　４月　１日　本校教育目標改定
　　６月２８日　学校プール設置
　　８月２０日　児童用自転車小屋設置
　　５１年　４月　１日　学習指導（国語）研究指定校
　　５２年１０月１９日　研究実践発表会
　　１１月１８日　開校 80 周年記念式典挙行
　　５５年　４月　１日　学校教育目標改定
　　５８年　４月２３日　強風のため体育館屋根一部破損
　　７月　１日　校舎改築着工　校舎一部解体
　　５９年　８月２６日　新校舎落成記念式典挙行
　　６２年　４月２８日　文部省指定心身障害理解推進校指定研究
　　６３年１０月２８日　同　上　研究発表大会
平成　元年　８月２５日　北海道教育実践論文全文掲載表彰
　　５年１０月２３日　体育館改築落成記念式典
　　７年　９月２５日　学校周辺緑化事業－果樹・イチイ等植樹
　　１０月１２日　上川管内学校体育研究会　鷹栖大会開催
　　１１月３０日　公開研究会
　　９年１０月１２日　北海道教育実践論文全文掲載表彰
　　１１月２９日　公開研究会（表現力を高める授業～国語科）
　　１０年　２月２４日　第６回全国小学校・中学校環境教育賞『奨励賞』
　　１０月１５日　１００周年記念公開研究会兼上教研大会
　　１１月１８日　開校１００周年記念式典・祝賀会
　　１１年　２月１９日　北海道教育実践論文概要掲載表彰
　　１２月　２日　交流教育２０周年記念実践発表会
　　１２年　２月２８日　平成 11 年度上川管内教育実践表彰受賞
　　３月　１日　第８回全国小学校・中学校環境教育賞『優秀賞』
　　１０月３０日　第３回全国環境学習フェア実践発表
　　１１月２５日　地域発信型公開研究会開催
　　１４年　２月１２日　メディアルーム（パソコン室）開設
　　４月　１日　特学「おおぞら学級」開設
　　１５年　４月　１日　特学「たいよう学級」開設
　　１１月２８日　学力向上フロンティア公開研究会開催
　　２月２６日　北海道教育実践論文全文掲載表彰
　　１６年１１月３０日　学力向上フロンティア地域公開研究会
　　１７年１０月　４日　上川管内教育研究会中央地区研究大会会場校
　　１８年　２月２３日　平成１７年度上川管内教育実践表彰受賞
　　４月　１日　特学「ひまわり学級」開設
　　１９年　４月　１日　特別支援教育スタート
　　２０年　２月２４日　「曽根文庫」開設　（曽根　澄子氏寄贈）
　　３月３１日　特学「おおぞら学級」閉鎖
　　４月　１日　特学「たんぽぽ学級」開設
　　２１年　９月１７日　授業公開実践研究発表会
　　２２年１１月２６日　北野小自主公開研究会「授業を語る会」算数科
　　２３年　２月　２日　「赤倉文庫」開設（赤倉クニ様寄贈）
　　４月　１日　特学「おおぞら学級」開設＜児童数 237 名＞
　　２３年１１月２４日　北野小自主公開研究会「授業を語る会」算数科
　　２４年　４月　１日　＜児童数２４１名＞
　　１１月２２日　北野小自主公開研究会「授業を語る会」算数科
　　２５年　４月　１日　＜児童数２５９名＞
　　ことばの教室（通級教室）「つくし学級」難聴学級「すずらん教室」開設
　　１１月２２日　北野小自主公開研究会「授業を語る会」算数科
　　２６年　４月　１日　＜児童数２５９名＞
　　病・虚弱学級「ひまわり学級」開設
　　２７年　４月　１日　＜児童数２８６名＞通常 12 特別支援５学級体制
　　図書コーナーに簡易教室２
　　２８年　４月　１日　＜児童数２７６名＞通常 11 特別支援５学級体制
　　２９年　４月　１日　＜児童数２５４名＞通常 10 特別支援５学級体制
　　３０年　４月　１日　＜児童数２３９名＞通常８特別支援４学級体制
　　３１年　４月　１日　＜児童数２２４名＞通常７特別支援５学級体制
令和　２年　４月　１日　＜児童数１９５名＞通常６特別支援６学級体制
　　３年　４月　１日　＜児童数１８９名＞通常６特別支援５学級体制
　　４年　４月　１日　＜児童数１８５名＞通常６特別支援５学級体制
　　５年　４月　１日　＜児童数１８５名＞通常６特別支援５学級体制

上川管内
教育推進の
重　点

≪学校教育目標≫
新しい時代を拓く
心豊かで生き生きとした子どもを育成する

鷹栖町
学校教育目標
教育行政方針

≪学校像≫
きらめく　たのしく
のびゆく　北野小

①魅力あふれるきらめく学校
（成就感，自己存在感）
②信頼し合うたのしい学校
（安心安全な環境，信頼感開かれた学校）
③共に伸びるのびゆく学校
（保護者，地域と共に成長）

進んで学ぶ子
①課題意識をもち，進んで学ぶ
②基礎・基本と活用力を身に付ける
③自分の考えや意見が言える

思いやりのある子
①礼儀正しく，いつでも挨拶
②思いやりがあり心の痛みがわかる
③励まし合い，よさを認められる

たくましい子
①めあてに向かってがんばる
②健康安全の習慣を身に付ける
③進んで体をきたえる

≪教師像≫
教えるプロ
子どもが見える
教材が見える
指導方法が見える

①子どもを大切にする教師
②授業に燃える教師
③自ら向上する教師
④責任を重んじる教師
⑤実践で信頼を得る教師

≪経営の基本方針≫
児童・教職員・保護者・地域が，楽しいと実感できる学校の創造
全校児童が「自分が好き，学校が好き」と自信をもって言える＊全教職員が凡事徹底して協働する

≪重点目標≫
学びを拓く
学びを拓く（知）　心を拓く（徳）　からだを拓く（体）

学び合い
【知識・技能】

認め合い
【思考・判断・表現】

きらめき
【学びに向かう姿勢】

聴いて・考えて・つなぐことを意識して活動させる

◆言語能力を高める
◆学習したことをしっかり身に付けさせる
○子ども同士の学び合いを高める
・北野っ子学習スタイルの定着
・ねらいを明確にした活動
・協力して学ぶ
○学習内容の確実な定着
・何を学び，何を身に付けるのかを明確に示す
・反復学習，家庭学習の習慣化
・ＩＣＴ活用（タブレット活用）

◆各教科で身に付けた力を表現活動で活用させる
○仲間と豊かにかかわる
・温かい聞き方，優しい話し方
・学級，学年への所属感向上
・北野活動班の活用
○主体性と自律心を育てる
・活動場面での意欲と達成感
・暮らしの改善意欲
○ＩＣＴ活用（タブレット活用）

◆学習，運動，健康を共に高め合わせる
○共に学習や運動する楽しさを味わう
・自己の成長をメタ認知できる記録と振り返り
・教え合い，励まし合い
○危険回避能力を高める

特別支援教育をベースに　＜ 一人一人の教育的ニーズに応じた目的意識のある支援 ＞

新しい生活様式
三密回避……手洗い・換気・消毒の徹底，ソーシャル・ディスタンス，マスク着用
健康チェック　　授業・休み時間・給食・清掃の約束　　心のケア

地域と連携して
・主体的な学びを保障する潤いある教育環境，ＵＤを意識した学習環境
・心の居場所をつくる学年，学級経営
・好循環なカリキュラム･マネジメント
・学校からの情報発信
・学校評価の充実・活用
・ＩＣＴを活用しながら授業力を高める校内研修の推進
・ＣＳ推進
・地域人材，教育資源，ボランティア活用
・家庭学習と家読の推進
・望ましい家庭生活習慣の定着
・幼保中連携推進（乗入授業）

＜校内研究主題＞
学びを拓き、学んだことを生かそうとする子どもの育成
～「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり～

教育課程の基本的な考え方

◎新学習指導要領の趣旨に添った教育課程の編成・実施・改善
○基礎・基本を重視した個性を生かす教育活動の充実
○外国語（高学年），外国語活動（中学年），特別の教科 道徳，総合的な学習の実施・記録・改善
○他校や養護学校，地域諸団体との交流を通した思いやりの心と思考・判断力育成

教科指導
○問題解決的な学習や体験を活用し，学ぶ楽しさや成就感・次への期待につながる授業づくり
◇学ぶ意欲を引き出す課題提示や学習過程を工夫した授業展開
◇基礎・基本を身に付けさせる TT 指導の工夫改善，個別支援の工夫
◇学習支援員・特別支援教育支援員の効果的配置と活用・改善
◇地域の教育資源やコンピュータ等の積極的な活用
◇家庭と連携・協力した継続的な家庭学習の取組の工夫・推進

道徳指導
○思いやりの心を育て，基本的な生活習慣を定着させる道徳教育の推進
◇豊かな体験の工夫や教材の開発による，考え議論する特別の教科道徳の指導と道徳的実践を促す場や機会の工夫
◇笑顔で元気な気持ちのよい挨拶
◇学校のきまり・社会のきまりを理解して守る
◎異学年交流（ふれあいの日）

特別活動
○ねらいや育てたい力を明確にした，諸活動の推進
◇「なすことによって学ぶ」体験学習の充実
◇自分の考えを堂々と発表し，生き生きと自分を表現する場の設定
◇子どもの発想や自主性を生かした学校行事や集会活動の推進
◇子どもの実態を生かしたクラブ活動の実施
◎北野活動（縦割り活動）
夏集会，冬集会，運動会

総合的な学習の時間
○自ら課題を見付け，思考・判断・表現する，課題解決力の育成を目指す学習の推進
◇地域の環境や人材の活用を図り，多様な一貫性のある学習形態を工夫し実践
◇教科等で学んだ知識・技能等を総合的に活用する場の工夫や有機的な関連を図る指導
◇探究的な学習の過程を重視し，学習の基盤となる資質・能力の育成
◎オサラッペ川水質調査　◎稲の生育観察　◎様々な交流活動　等

①鷹栖養護学校との交流……全校，学年別交流
②指定介護老人施設「さつき苑」・「えん」との交流……第４学年
③ななかまど大学との交流……第１学年・第２学年
④鷹栖円山幼稚園・北野保育園との交流……第２学年
⑤外国語指導助手（ALT）との交流……全学年
⑥少人数指導による指導の充実……全学年
⑦北野活動（全校縦割り班活動）……全学年
⑧各種ボランティア活動……全学年
⑨ボランティア団体による読み聞かせ……全学年
⑩農協青年部の協力による稲作体験活動……第５学年
⑪中学校教員による「英語」「外国語」乗り入れ授業……第３～６学年

＜鷹栖養護学校との交流＞
鷹栖養護学校が昭和５４年に創立以来，４１年間継続。学年毎に年間３，４回の交流をを実施。

＜スクールボランティア＞
自主的・実践的な態度を養う大事な場面

＜さつき苑交流＞
入所者の皆さんとのふれあいを通して豊かな心を育む

＜読み聞かせ＞
ボランティア団体「キタキタ」による読み聞かせを朝読書の時間に実施

＜オサラッペ川水質調査＞
福田水文センター等の協力を得て実施。調査により都市･生活型公害を身近な地域の問題として実感し，環境保全の実践的な行動について考える活動